

福田たえみ 区政だより

Vol.4 2015 春季号

臨床検査技師20年。医療現場の経験を活かし、
ひと・まち 元気にします!

- 昭和42年東京都生まれ
- 世田谷区立砧中学校卒業、都立新宿高校卒業、杏林大学卒業。
- 元東京女子医科大学病院 20年勤務

世田谷区議会議員
臨床検査技師



ごあいさつ

日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

私は、女性ならではの視点と、医療に従事した経験を活かし、平成23年4月の初当選以来、区民の皆さまの「生命と健康を守る」政治に取り組んでまいりました。

これからも、すべての区民の皆さまが、健やかに、安心して住み続けられる世田谷を目指し、全力で働いて参ります。

今後とも、皆さまの貴重なご意見・ご要望を宜しくお願い申し上げます。

福田 たえみ

平成27年度の予算が可決しました

◆がん対策の総合的な取り組み

- がん対策推進に向けた計画の策定
- がん相談窓口の拡充

◆保育待機児対策

- 保育定員数の拡充に向けた施設整備
平成26年からの継続整備 6園 定員 508人
平成27年整備 24園 定員1400人

◆妊娠期から出産・子育てまでの

切れ目のない支援と虐待防止対策の推進

- 産後ケアの利用枠の増
平成27年から10室から11室に。

◆防犯カメラ整備助成

- 町会・自治会への助成
整備費5/6助成 4団体



太田国土交通大臣へ緊急要望! 区内における交通バリアフリーに 関する要望を直接申し入れました

平成27年2月12日、国土交通省大臣室において「世田谷区内の鉄道駅の安全確保と交通バリアフリーに関する要望書」を提出。

太田国交相からは、「公共交通機関における安全性の確保やバリアフリーの促進は大変に重要であり、国としても事業者が整備を促進しやすいよう、支援を検討していきたい」とお応えいただきました。



- 1 駅構内におけるホームドアの設置
- 2 駅コンコースから地上部へのエレベーター設置（三軒茶屋駅）

2025年「大介護時代に どう備えるのか」 世田谷区へ提言を行いました!

2014年5月から7月にかけて「大介護時代アンケート」を実施し、約1万人から貴重な声をいただきました。その調査結果から、「人生100年」へ安心して暮らせる世田谷をめざして政策提言を行い、介護基盤の整備・充実を進めます。

「人生100年」へ安心して 暮らせる世田谷へ

- 地域からの孤立・孤独をなくす
- 介護離職をなくす
- 健康寿命、活動寿命を伸ばす
- 高齢者の権利擁護を充実
- 認知症の人やその家族を支える
- 高齢者の住まいを確保する

皆様のご意見・ご要望を公明党世田谷区議団までお寄せください。

● 公明党世田谷区議団

〒154-8504 世田谷区世田谷 4-21-27
TEL: 03-5432-2788 FAX: 03-3413-7233
URL: <http://www.komei-setagaya.org/>

● 福田たえみ

〒154-0017 世田谷区世田谷 4-7-33-1F
TEL・FAX: 03-5797-9825
E-mail: taemi@sunny.ocn.ne.jp
URL: <http://www.fukuda-taemi.com/>





福田たえみの議会質問 (平成26年度)

子ども・子育て

◇妊娠期からの切れ目のない支援◇

産前から産後まで、安心して産み育てる環境を求めて参りました。

▶ **関係部署が連携し、妊娠期からの切れ目のない支援に努める。**

☆27年度から、妊娠期から子育て家庭を支える世田谷版切れ目のないサポート体制の検討が始まります。

(平成26年 第2回定例会)



◇保育待機児童対策◇

保育待機児童対策に、保護者への経済的負担軽減を求めました。

▶ **保育園整備の促進に努める。**

(平成27年 第1回定例会)

高齢者の安心

◇医療と介護の連携◇

高齢者の機能訓練は介護予防や介護状態の重度化予防のため、地域リハビリテーション支援センターとの連携を強め、医療と介護の連携で訓練の体制の充実を求めて参りました。

▶ **適切なリハビリを受けられるよう医療と福祉の連携を進める。**

(平成26年 第3回定例会)

区民の健康

◇HPV検査とABC検査の導入◇

がん予防の取り組みの強化が必要です。がん発症のリスクの把握につながる子宮頸がんのHPV検査と胃がんのABC検査を区のがん検診へ導入を求めて参りました。

▶ **国の動きなどを注視し、がん予防の取り組みに努める。**

(平成26年 第2回定例会)

◇乳がん検診への超音波検診の導入◇

区の乳がんによる死者数は都の平均よりも多く、対策の強化が急務です。乳がん検診の検査精度の向上を図るために、品川区にならい区も超音波検査を導入することを求めました。

▶ **国の指針に超音波検査が盛り込まれた際に速やかに対応する。**

(平成26年 第4回定例会)



災害から区民を守る

◇土砂災害対策の強化◇

区内の急傾斜地崩壊危険箇所に設置した土砂崩落防止のための擁壁は、設置から年数が経過したものもあります。災害時に機能しない擁壁については補修など着実に進めることを求めて参りました。

▶ **都の基礎調査の結果を踏まえ、関係部署で連携して検討する。**

(平成26年 第3回定例会)

皆さまから頂いた声が形になりました

●区民の健康を応援します!

都内初の健康白書「データでみるせたがやの健康」が実現。(平成26年10月)



生活習慣病と医療費適正化は喫緊の課題です。若い頃からの生活習慣の改善の取り組みが重要なのも、自覚症状がないまま進行する糖尿病の発症、重症化の予防につながるからです。区民の皆さまの健康を守るために科学的裏付けのある効果的な健康づくり対策が重要です。

そのためにも、関係所管との連携で、データ収集、蓄積の仕組みをつくり、科学的裏付けによる健康づくり対策の基礎データとなる健康白書の提案をし、平成26年10月に完成しました。

●発達障害者就労支援センター「ゆに」の開設

全国初の発達障害者就労支援センターが、3月24日にオープンしました。



発達障害のある方を対象として就労相談、自立訓練、就労の継続支援に加え通所施設も併設した支援センターです。

場 所：世田谷区上用賀5-14-1 上用賀アートホール2F

連絡先：03-5797-2343

開所時間：火曜日～土曜日 10:00～17:30

(祝日、年末年始除く)



最近の活動



◀平成26年11月 世田谷区動物フェスティバルにて(砧公園)

▶平成26年12月 セタガヤユースフォーラムにて「NO危険ドラッグ」(成城ホールにて)

